

椋山女学園大学改革アクションプラン 2024

本学の個性や特色を活かし、学生等の多様なニーズに質の高い教育で応えていくため、本学では学長のリーダーシップの下、毎年「椋山女学園大学改革アクションプラン」を策定し、教育改革に取り組んでおります。

2024年度は、外国語学部英語英米学科・国際教養学科、人間関係学部人間共生学科、情報社会学部情報デザイン学科・現代社会学科の開設や、トータルライフデザインセンターの設置など、新しい椋山女学園大学のスタート年として、学びの継続及びさらなる教育改革を推進すべく、「椋山女学園大学改革アクションプラン2024」を策定いたしましたので、ここに概要を報告いたします。

I. 教育内容の充実

学生が主体的に学ぶ姿勢を醸成し、成長を実感できる教育を行い、主体的・対話的で深い学びを実現します。

・教育の内部質保証

今年度から導入する学修成果可視化システム(Sugi-PORT)を利用し、学修・生活指導教員から学生への個別指導の実施、学生自身の成長実感の分析を行い、教育の内部質保証を推進します。

・ジェンダー教育の推進

多様な生き方を学び、ジェンダー視点に留意できる知識、理解、思考、判断の力を身に付けるために、教養教育科目「ジェンダー論入門」及びジェンダー・女性学関連科目の他学部他学科開放を推進します。

・食と健康に関する教育実践

2024 年度にスタートする、トータルライフデザインセンターの食と健康ユニットを中心として、全学共通科目「人間論」における食と健康関連授業の共通化と充実を図ります。

II. 学修支援

学生の多様なニーズに応じた学修支援を行い、教育効果を高めるとともに、学生が学修を深めることができる環境を整えます。

・デジタル技術の活用

多様なメディア授業についての情報を収集し、より教育効果の高いLMSの導入と活用を推進します。

看護学部による電子教科書及び BYOD の導入をモデルケースとして、より一層のネットワーク環境の充実を図ります。

III. 学生生活

学生間、学生と教職員など、学内コミュニケーションの一層の充実を図り、必要なサポートがすぐに得られる安心・安全で健康的なキャンパスライフを実現します。

・快適な学生生活環境の整備

ピアサポート制度の充実と学部を越えた多彩な居場所空間の創出を促進するとともに、学生生活の満足度を高めるキャンパス空間を整備します。

IV. キャリア支援

学生が就職、進学など進路についての希望を実現できるように、支援体制の充実を図り、就職の「質」を向上させ、卒業後も生涯にわたり支援します。

・キャリア育成センターの充実

教養教育科目「領域7 トータルライフデザイン」に置かれ、2025年度から開講する「ビジネススキル入門」の準備を進めるとともに、「キャリア形成実習」への接続を念頭に、既設の IT 系 e-learning システムである「WorkSchool」の利用を促進し、キャリア育成センターの機能充実を図ります。

・リカレント教育の推進

トータルライフデザインセンターを中心とした、リカレント教育の充実と推進のための体制を確立し、キャリアアップやキャリアチェンジのサポートや子育て世代へのサポート拠点としての機能強化を図ります。

V. 学生確保

教養から実学まで、在学生から卒業生・社会人まで、幅広い学びの要求に応えることによって、中長期にわたり安定した学生確保を実現します。

・多様な人々に開かれた入試制度

アドミッション・ポリシーに基づいた学生確保のため、募集定員や入試方法、入試科目等を検証し、多様な入試制度を整備し、導入していきます。

学部・学科の専門性に見合った能力や特別な個性を有する学生のための入試制度の実施を検討します。

VI. 社会連携

他大学、行政組織、企業など、地域社会の様々な主体との連携を進めることによって、本学の活性化と発展を目指すとともに、地域社会に貢献します。

・行政組織、産業界、地域社会との連携促進

東海地区を中心とした行政、企業との連携を進め、学生ボランティアや教職員の派遣など、これまで以上に交流を活性化させ、連携強化を促進します。

VII. マネジメント

教学組織の持続的な改革を通して、資源の最適配分を計画・実行するマネジメント力を一層強化します。

・新校舎建築に伴う共用スペースの有機的運用

新たに建築予定の校舎の共用スペースに設置される各種施設が、社会で活躍する女性の支援や地域貢献の拠点となるよう、有機的な運用を図ります。